

学校法人庄内神社学園 庄内こどもの杜幼稚園

平成28年度 自己評価計画シート

1. 本学園の保育目標

～われわれ学園職員一同は、次に掲げる子どもの姿を理想として、支援や環境設定をする～

- 神をうやまい、親や自分を取り囲むまわりの人々を大切に子ども
- 基本的な生活習慣、態度を身につけた子ども
- 心身ともに健康的で、ねばりのある子ども
- きまりを守り、みんなと仲良くできる子ども
- よく考えて工夫し、自分から進んで行動できる子ども
- 情操豊かな心を持った子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標や計画

- ・高い質を保つための意識向上
- ・園内の美的環境を向上させる
- ・質の高い保育内容の発信
- ・保護者同士が関わりあえる仕掛けの検討

3. 評価項目

評価項目	結果
○組織運営等 ・高い質を保つための意識向上できるような施策や行動を実施 ・職員の連携力、チーム保育する習慣をつけるための取り組みを実施	様々な業務改善を行いながらも、園運営を例年通り大過なく行うことが出来た。 園内のマニュアルの再整備をすることで、現状より質を向上できた。 ITを活用した情報共有を促進した。 メンター制度を取り入れることで、コミュニケーションの促進がなされた。
○教育環境整備 ・園内の美的環境を向上させるような施策や行動を実施 ・子どもが心身共に心地よく過ごすための環境整備	職員間で共用部分の美化担当を割り当て、備品倉庫に棚を取り付け、使いやすくなりやすい整理整頓ができた。また、子どもにも整理に対する意識付けをすることが出来た。砂場の改装をしたり、子どもの作品を飾る棚を、2階の靴箱や踊り場の壁に配置したりした。
○保護者・地域住民との連携 ・保護者同士がより深いコミュニケーションを取り合えるような、環境や施策の検討	保護者がよりかかわりあえるように、クラス懇談の内容改善や園行事の参加などを促進したり、保護者会活動もクラスの交流を高める取り組みに改善協力してもらったり、親子交流会や運動会でより交流できる内容に改善したことで、保護者同士のコミュニケーションが促進された。
○研修（資質向上の取組） ・現在の保育の発信をより質を高く、より内容を伝えられるような施策の検討と実施	現在ある園内の発行物や提示物などを、より今の子どもの様子が伝わるような内容にすることで、日頃の保育が伝わりとの声が聴かれた。 外部講師を2人体制にすることで、職員の学びが促進された。

4. 財務の状況

公認会計士より、適正と認められている。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
おむね良好であった	・昨年度の振り返りをもとに今年度計画した事は、おおむね良好に実施できた。 ・保護者アンケートでも、おおむね良好な評価を得ることが出来た。

6. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・平成30年の要領・指針等の改訂に向けての準備 ・業務を生産性が高まる改善	平成30年度、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領の改訂に向けての研修と、保育の再検討 ICT化や指導計画やマニュアルの見直しをすることで、情報共有し、業務の効率化と質向上を図る。
・職員が主体的に運営に携わる施策検討・実施 ・保育の質向上の取り組みを検討	それぞれの職員が、リーダーシップやマネジメント意識をつけるような検討 年長者世代の職員を中心に、全園的に保育向上に寄与できるような施策検討

7. 学校関係者の評価

- ・日々先生方に感謝。先生は子どものことを良くみている。
- ・幼稚園内では子ども会等で、異年齢交流がある。この取り組みが良い。縦の関わりがいいと思う。
- ・縦のつながりが大事。ここではうまくいっている。
- ・学習指導要領・教育要領の大事なことを、この幼稚園は先行的にしているのではないかと。
- ・子ども中心で縦の組織・横の組織がうまくなされてx c いる。子ども同士での学び合いができていと思う。
- ・昔は子ども会があったが、今はなくなってしまった。この幼稚園では、いろいろな関りがあるのでいいと思う。・能率化をはかり情報共有をして集約することは大事。
- ・職員層が高くなったことは、財政的には大変かもしれないが、経験が豊富な人がいるのはいい。
- ・他の地域から来た子どもが、園で馴染めばいいかなと思います。